

「第 41 回素形材産業技術賞」において「経済産業省製造産業局長賞」を受賞

～大型ダイカスト用高効率アルミニウム溶解炉の開発が高く評価～

株式会社宮本工業所（本社：富山県富山市奥田新町、代表取締役社長：宮本 芳樹）は、「第 41 回素形材産業技術賞」において「経済産業省製造産業局長賞」を受賞いたしましたことをお知らせいたします。

本受賞は、いすゞ自動車株式会社、互交産業株式会社、株式会社宮本工業所の三社が協働で開発した「大型ダイカスト用高効率アルミニウム溶解炉」に対して贈られたものです。同技術は、製品品質および生産性の向上に加え、環境性能と経済性を兼ね備えた点が高く評価され、ダイカスト業界への普及が期待される先進的な取り組みとして今回の受賞に至りました。



2025 年 11 月 7 日、東京都港区の機械振興会館にて表彰式が行われました。

開 発 技 術 名	大型ダイカストに対応したコンパクトな省燃費アルミニウム溶解炉の開発	
	”大型ダイカストの未来を変える 高効率・高機能・インテリジェント工業炉”	
受 賞 者	いすゞ自動車株式会社 要素技術部	塩谷聡（えんや さとし）
	casting 技術グループ	
	いすゞ自動車株式会社	佐藤智治（さとう ともはる）
	いすゞエンジン製造北海道株式会社	和田淳一（わだ じゅんいち）
	株式会社宮本工業所	青木公俊（あおき きみとし）
	株式会社宮本工業所	松井仁嗣（まつい ひとし）
	互交産業株式会社	井浦一茂（いうら かずしげ）

■受賞技術の概要

自動車用大型ダイカスト生産ラインでは、複数のダイカストマシンに対応する「集中溶解方式」が主流であり、多くのエネルギーを消費するという課題がありました。

本技術では、炉体の小型化・高性能化によって各ダイカストマシンに個別対応させる方式を採用。これにより、エネルギー消費量を従来比で約 50%削減することに成功しました。

さらに、制御技術の高度化・高機能化により、近年注目されているギガキャストや次世代燃料（水素・バイオ燃料・合成ガスなど）への対応も可能となり、経済合理性を伴ったカーボンニュートラル化への貢献が期待されています。



受賞の対象となった大型ダイカスト用高効率アルミニウム溶解炉

■「素形材産業技術賞」について

「素形材産業技術賞」は、一般財団法人 素形材センターが主催する表彰制度です。

日本の素形材産業における技術開発・改善・普及を奨励し、産業の発展に寄与することを目的として設立されました。今回で第 41 回を迎え、多くの優れた企業・研究機関が受賞しています。

■株式会社宮本工業所について

宮本工業所は、1927 年の創業以来、「熟技術を通じて豊かな社会づくりに貢献する」ことを使命とし、人間力と技術力の研鑽に努めてまいりました。

「Make All Smart ーすべてをスマートにー」を掲げ、社会とお客様と共にイノベーションを創出し、人と自然が調和する持続可能な社会の実現を目指しています。

■会社概要

会社名：株式会社宮本工業所

所在地：〒930-8512 富山市奥田新町 12 番 3 号

代表者：代表取締役 宮本芳樹

事業内容：熱技術を中心とした工業炉・火葬炉の開発・製造・販売

URL：<https://www.miyamoto-k.co.jp>

担当(窓口)：総務部 中田 (Tel076-441-2201 / ✉yoshihiro-nakada@miyamoto-k.co.jp)

担当(技術)：工業炉技術営業部 摺崎 (Tel076-441-2203 / ✉takashi-surizaki@miyamoto-k.co.jp)